

磐戸鉱山

— 南牧村の巨大な採掘遺構 —

遺構、なんもく村へ



時が止まった

「採掘遺構」

磐戸鉱山のホッパー施設跡。
2つある巨大な穴にトラックが入り
鉱石を積み込んでいた。
上の山では大規模な露天掘りが行わ
れていたという。



磐戸鉱山の歴史

南牧村の山中に聳え立つ巨大な採掘遺構「磐戸鉱山跡地」。1943年に設立した青倉石灰工業株式会社が1950年から石灰の採掘を開始。当初は索道運搬・坑内採掘を行っていたものの、1972年以降は坑内採掘を中止し、露天掘りによる採掘を行った。1993年に閉山したが、採掘の名残が今も遺構として存在する。

※チェーンで規制されたエリアには立入できません。
安全な場所からお楽しみください。



巨大な坑口

12号坑口

閉鎖された

磐戸鉱山には他にも様々な施設が残っている。坑道採掘時代に使用され、後年もトラック運搬に使用された巨大な坑口もホッパー跡より約500m手前にあり、圧倒的な存在感を誇る。



— 南牧村の巨大な採掘遺構 —

磐戸鉱山

所在地 群馬県甘楽郡南牧村小沢
アクセス 道の駅オアシスなんもくから車で約8分(2.2km)
お問合せ 南牧村役場 情報観光課
☎0274-87-2088

詳しくは村公式サイト特設ページをご覧ください→



— 南牧村の巨大な採掘遺構 —

磐戸鉱山

オフィシャルガイドマップ



井天橋前を左折
(下仁田方面からお越しの場合)



道の駅オアシスなんもく



12号坑口

磐戸鉱山で使用された坑口
現在は閉鎖されている



ホッパー跡地

磐戸鉱山のホッパー跡地
2つの大きなホッパーホールが見どころ



南牧村公式サイト
磐戸鉱山ページ

立入禁止エリア

露天掘り跡
(御岳丁場)

磐戸鉱山跡地には「立入禁止エリア」も含まれています。

お越しの際は危険な場所に近寄らず、安全な場所からお楽しみください。